

知的障害特別支援学校 高等部

都立知的障害特別支援学校の種類

全校 〈普通科45校、就業技術科5校、職能開発科7校〉

普通科

- 足立特別支援学校
- 葛飾特別支援学校
- 墨田特別支援学校
- 王子特別支援学校
- 板橋特別支援学校
- 練馬特別支援学校
- あきる野学園
- 武蔵台学園

など45校

専門学科

《就業技術科》

- 永福学園
- 青峰学園
- 南大沢学園
- 志村学園
- 水元小合学園

《職能開発科》

- 足立特別支援学校
- 港特別支援学校
- 江東特別支援学校
- 東久留米特別支援学校
- 青鳥特別支援学校
- 練馬特別支援学校
- 八王子南特別支援学校

各学科の特徴

| 学科 | 就業技術科 | 職能開発科 | 普通科 |
|---------|--------|--------|---------|
| 受入れ | 入学者選考 | 入学者選考 | 学区区域内 |
| 目標 | 全員企業就労 | 全員企業就労 | 一人一人異なる |
| 人数 (学年) | 60～100 | 20 | 学年毎に異なる |
| 生徒像 | 軽度 | 軽度から中度 | 軽度から重度 |

東京都立足立特別支援学校

■昭和53年 開校

- ・「知的障害特別支援学校」高等部

- ・生徒数 173名

普通科

- ・1学級8名 担任2名 20学級

職能開発科

- ・1学級10名 担任1名 6学級



職能開発科1年生の時間割（例）

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|---|--------------------|------|----------------|--------------------|------|
| 8:30 | | | | 登 校 | | |
| 8:35~8:40 | | | | S H R | | |
| 8:45~9:35 | 1 | 職業に関する 専門教科 | 音 楽 | 職業に関する 専門教科 | キャリア ガイダンス | 家 庭 |
| 9:40~10:30 | 2 | | 保健体育 | | 社 会 | |
| 10:35~11:25 | 3 | | 理 科 | | 職業に 関する 専門教科 | 数 学 |
| 11:30~12:20 | 4 | | 美 術 | | 職業に 関する 専門教科 | 情 報 |
| 12:25~12:55 | | | | 給 食 | | |
| 12:55~13:15 | | | | 休 憩 | | |
| 13:15~14:05 | 5 | 職業に 関する 専門教科 | 外国語 | 保健体育 | 国 語 | 特別活動 |
| 14:10~15:00 | 6 | | 数 学 | | 数 学 | 職 業 |
| 15:05~15:15 | | | | S H R | | |
| 15:20~ | | | | 下 校 | | |

職能開発科進路状況について

令和6年度卒業生の進路 職種内訳

| コース | 事務 | 製造 | 物流 | 小売販売 | 飲食厨房 | サービス | その他 | 合計 |
|-----|----|----|----|------|------|------|-----|----|
| フード | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 0 | 2 | 8 |
| 流通 | 3 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 12 |
| 合計 | 4 | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 | 4 | 20 |

過去の卒業生の進路 職種内訳



企業就労希望者の企業就労100%

普通科1年生の時間割（例）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|------|--------|-----------|------|------|
| 1 時間目 | 保健体育 | 生活単元学習 | 保健体育 | 数学 | 保健体育 |
| 2 時間目 | 作業学習 | 保健体育 | 国語 | 職業 | 作業学習 |
| 3 時間目 | 作業学習 | 保健体育 | 家庭 | 国語 | 作業学習 |
| 4 時間目 | 作業学習 | 数学 | 家庭 | 音楽 | 作業学習 |
| | 給食 | | | | |
| 5 時間目 | 作業学習 | 音楽 | 総合的な探究の時間 | 保健体育 | 美術 |
| 6 時間目 | 作業学習 | 情報 | 特別活動 | 保健体育 | 美術 |

普通科進路状況について

| | 企業 | 就労移行 | 就労継続A型 | 生活介護事業 | その他 | 合計 |
|-----|----|------|--------|--------|-----|----|
| R 4 | 5 | 8 | 0 | 22 | 6 | 41 |
| R 5 | 3 | 8 | 1 | 16 | 1 | 30 |
| R 6 | 2 | 8 | 0 | 15 | 2 | 27 |

実習の進め方

企業

- ・ 本人、保護者の希望をもとに進路指導部が決定
- ・ 3年生では、実習を通してマッチングが合った場合、企業に求人票を出していただき、採用選考を受ける

福祉

- ・ 保護者に希望する事業所名を挙げていただく
- ・ 足立区のルールで申請を行う
(区ごとにルールあり)



進路決定に向けての流れ

<職能開発科>

- ・ 少人数できめ細やかな指導
- ・ 職業に関する専門教科（家政・流通）
- ・ 1年次に小集団でのインターンシップと
現場実習
- ・ 2年次は2回の**現場実習**（前期、後期）
- ・ 3年次は2回の**現場実習**（前期、後期）を
基本に各生徒に合わせた**現場実習**の設定⇒
就労へ

<普通科>

- ・ 2年次から発達段階に合わせた類型化
- ・ 作業学習
- ・ 1年次に職場見学と校内実習
- ・ 2年次は2回の**現場実習**（前期、後期）
- ・ 3年次は2回の**現場実習**（前期、後期）
を基本に各生徒に合わせた**現場実習**の設
定⇒就労へ



どちらも適性就労をめざす = 長く安定して働けることが大切。

高等部を
卒業したら

卒業後の進路

卒業後の進路として

- ① **企業等に採用選考を受けて入社する**
(企業就労、一般就労と呼ばれます)
- ② **福祉サービスを利用する進路**
(福祉的就労と呼ばれます)
- ③ **その他の進路** (進学、職業能力開発センターなど)

日中活動の場としての進路先です。

ここではグループホームや施設入所等の生活の場は、進路先とは定義していません。

一般就労①

* 公共機関や一般企業と雇用契約を結んで働く

<特例子会社>

障害を持つ人の雇用の促進のために設立された会社。親会社の法定雇用率にカウントできる。障害や特性に対するサポート環境が整っている。

多様な障害を持つ人とチーム、ペアで作業できるか？近くに理解してくれる人がいたほうが安心・・・

<障害者雇用>

障害のない人と同様にはたらく機会を得られるよう、自治体や企業が特別な採用枠で雇用。

企業によっては高いスキルの仕事も・・・障害理解が進んでいない場合も・対応できるか？支援体制、仕事内容、総合的に見たマッチングが重要・・・

一般就労②

* 職種は様々！本人の希望と特性を考慮しながら決めていく。

<事務>

PC入力、文房具補充、印刷、郵便物の仕分け・配達から会議室等の清掃・消毒業務等、仕事の幅が広い。様々な業務への対応力！

<物流>

荷物運搬やピッキング作業が多い。立ち仕事で体力を求められる。伝票とのマッチング、計算力、倉庫内での危険察知能力も必要。

<製造>

ライン作業では繰り返しの動作が多く、同じ作業への集中力が必要。自閉傾向の方が得意かも・・・

<飲食・厨房>

食器洗浄、盛り付け、店舗清掃等が多い。清潔・衛生面への意識。立ち仕事で体力が必要。定型！・・・集団調理（病院等）臨機応変できる！・・・店舗

一般就労③

* 職種は様々！本人の希望と特性を考慮しながら決めていく。

<小売>

接客苦手ならバックヤード作業（青果、惣菜等）接客Okなら売り場での品出し。清掃作業等も多く清潔・衛生への意識が求められる。立ち仕事なので体力も必用。

<清掃>

社内清掃（廊下、階段、会議室等）、ゴミの回収・分別作業等が多い。チームでの作業が多く、コミュニケーション力が必要。また体力も必要。早朝勤務！

<農園型障害者雇用>

企業が農園の一部区間と設備を借り受け、そこで障害者を雇用する。できた農作物を会社で販売、カフェで活用等・・・会社とのつながりが弱い部分もあるが・・・障害者3人に1人の指導者がつく場合も。作業内容もパターン化されていてわかりやすい。重度の方も採用している。

福祉的就労～一般就労

* 福祉的就労と一般就労の間にある進路

<就労継続支援A型>

一般企業等での就労困難な人に、**雇用して**就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。

(福祉的就労だが**最低賃金出る**)
(就労のサポートあり)

一般就労に近い福祉的就労

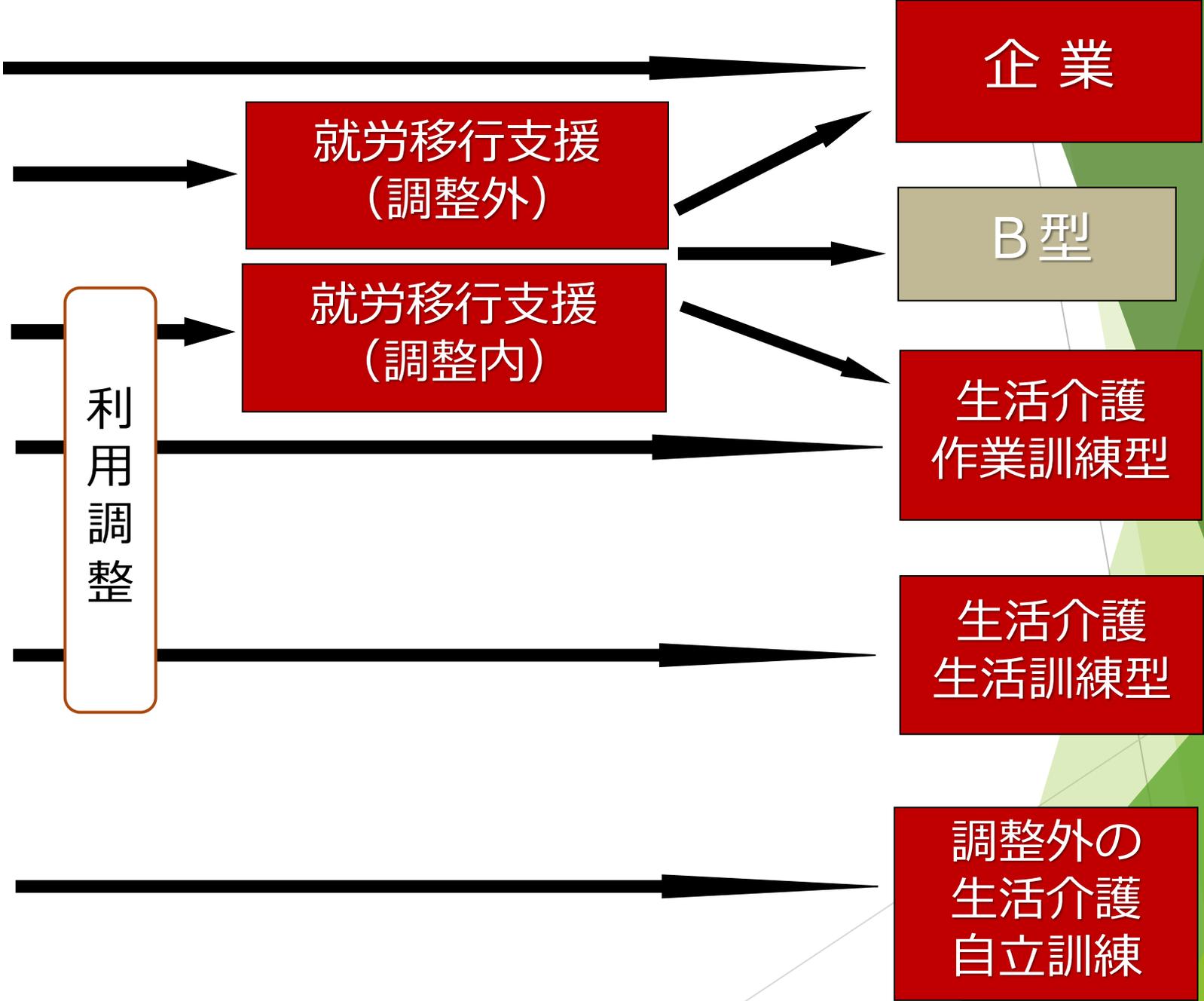
<チャレンジ雇用（東京都）>

各省庁、自治体で雇用。業務経験を踏まえ、ハローワークなどを通じて一般企業への就職へつなげる制度。週4日の勤務。3年間。

(2名に対して1人の指導員)
(就労のサポートなし)

福祉的就労に近い一般就労

本校



福祉的就労①

* 福祉サービスの中でサポートを受けながら働くこと

<生活介護>

常に介護を必要とする方に、昼間、入浴、排せつ及び食事等の介護を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会の提供する。

<自立訓練（生活訓練）>

自立した日常生活または、社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の維持、向上のために、必要な支援、訓練を行う。（2年間）

福祉的就労②

* 福祉サービスの中でサポートを受けながら働くこと

<就労継続支援B型>

一般企業等での就労困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。

(R6平均工賃 18,245円)

<就労移行支援>

一般企業への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。

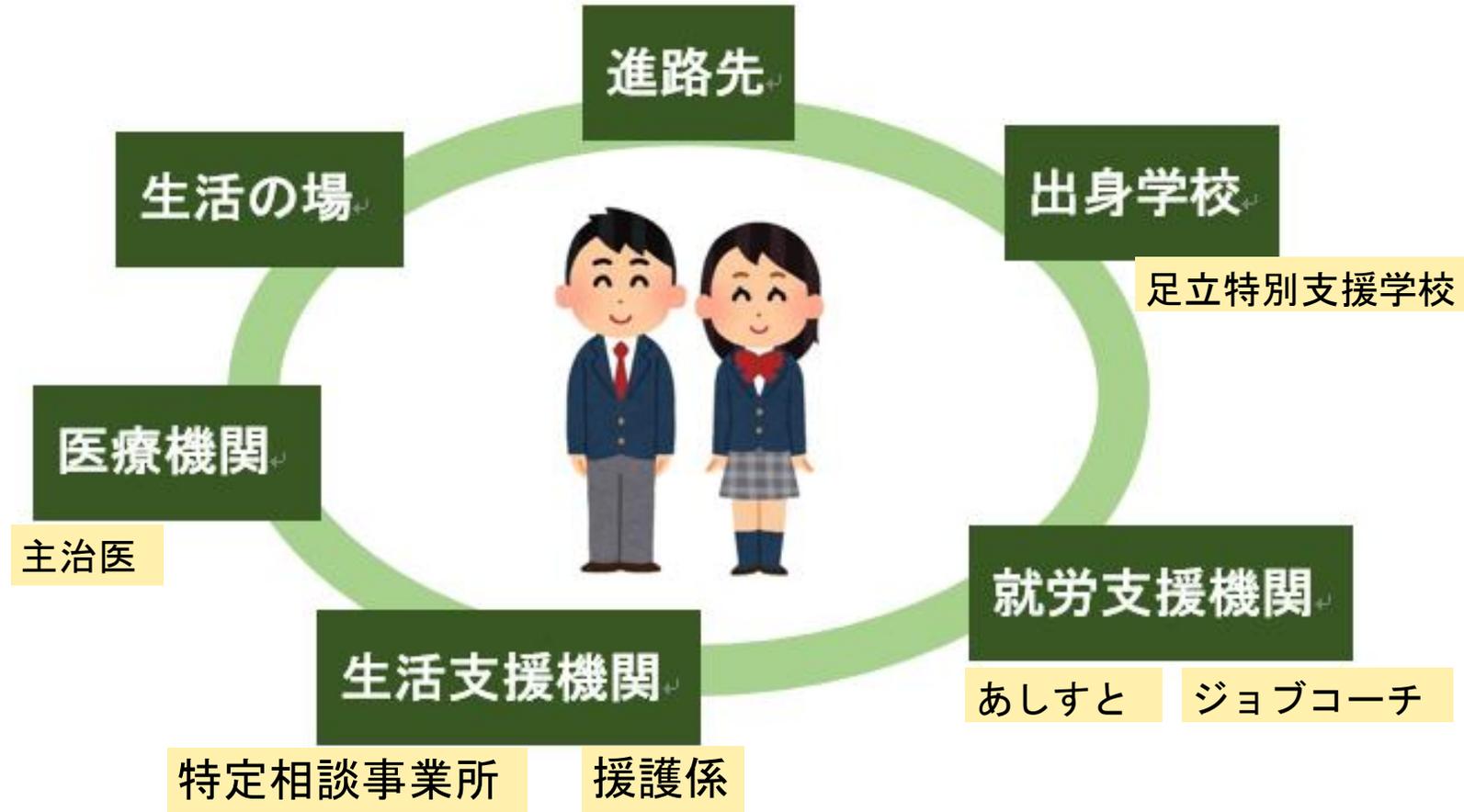
(2年間)

アフターケアについて（一般就労）

- * 卒後3年間は学校のアフターケア相談は随時、何かあればすぐに職場訪問、面談
- * 3年目の終わりに地域の支援機関へ引き継ぎ
- * 過去3年間の定着率 約90%
定職率 約97%

卒業後の支援

本人を中心としたネットワーク（支援体制）作り



学校生活支援シートの「支援機関」の欄を増やしていきましょう

身に付けてほしい力とは？

自立に向けて

* 個々の状況にもよりますが、将来は誰もが自立をしていきます。自立度は個々によって違いますが、今、ご家庭で意識できることを考えてみましょう。

ご家庭で身に付けてほしい力①

心と身体健康管理



- 自身の障害や病気について正しく理解し、体調を維持できる。障害受容ができています。
- 不安、パニック→クールダウン等、対処方法の確立。
- 医療への相談。服薬の管理、調整ができています。
- 調子が悪いことを伝えられる。
- バランス良い食事をとることができる。

ご家庭で身に付けてほしい力②

日常生活管理



- 規則正しい生活ができる。
- 服装、身だしなみ、清潔への意識がある。
- 金銭管理。お金を使う経験をしている。
- 移動能力。一人で決められた場所へ行ける。公共交通機関が使える。
- 余暇をもっている。いろいろなことに興味・関心をもてる。一人で過ごせる好きなことがある。

ご家庭で身に付けてほしい力③

人と関わる力



- いろいろな人と関わることができる。
- コミュニケーション手段の確立。
- 自分の要求が伝えられる。
- SOSを発信することができる。
- あいさつができる。
- 正しい言葉遣いができる。

ご家庭で身に付けてほしい力④

働くことへの意欲

* 「人の役に立っている」経験の繰り返しで、働くことへの幸せを感じられるようになる。



家庭でのお手伝いで**役割**を持たせる。

できた⇒「助かったよ！」

継続できてきたら・・・「助かったよ！」+評価